

新しい市役所をいかしたまちづくりについて市長と語る会
意見交換結果概要（8月20日 山之上地区開催分）

○日 時 令和元年8月20日（火）午後7時～8時45分

○会 場 山之上交流センター

○出席者 39人

○内 容

□【出席者の質問・意見・提案等】

⇒【市長の回答等】

□駅周辺の液状化現象はどのようになっているか。

⇒液状化になる危険性は、新造成地の方が高いとされており、美濃太田駅周辺はそれに比べれば低いとされている。

□浸水についてはどうなっているのか。

⇒木曾川浸水の想定最大規模の資料において、美濃加茂市も浸水する地域とされている。

これは、そこに住まないようにするものではなく、浸水することの危機感を持ち、今できることは何かを考えてもらうためのものであり、道路整備や市役所等を建ててはいけないということではない。防災の危機感を持った整備を進めることでご理解いただきたい。

□なぜ、あらかじめ災害が想定されているところに防災拠点をつくるのか。

⇒強固な基盤があり、想定される災害の対応やネットワークが集まる場所として、駅周辺の環境が1番良いと考えている。

□にぎわいができるためには、庁舎を建てるだけでなく、商店街や中山道の人たちの努力が必要ではないか。

⇒太田駅の西側・南側も含めた大きなエリアで企業、お店といった民間と連携してにぎわいをつくっていききたい。

□駐車場が遠いと子ども連れは行きづらいがどうか。

⇒駐車場は、できるだけ近くで確保していきたい。台数については、現況を調査し、100台程度が必要といわれている中で、今よりも多い台数が確保できると考えている。

□駐車場が点在していると、細い道路も多い中で、障がい者、高齢者、子ども連れの人はどうのようにスムーズで安全に行けるようになるのか。

⇒道路については、都市計画と一緒にあって、エリア全体でどのように整備できるのか考えていきたい。駅前を中心に調査することを認めていただき、しっかり説明したい。

□今後も意見交換会は開催されるのか。

⇒定期的に意見をさせていただきたい。

□9.28 災害を受けている駅南に建てることは、災害時の拠点となることが欠如しているのではないか。

⇒9.28 のことはしっかり想定し、災害意識を高めるためのものとして、自分たちができる対策をやっていきたい。また、防災機能を分けることも考えられる。

□公共施設等総合管理計画の3大基本方針に新規建設はしないことと矛盾しているのではないか。

⇒新規とは、今までに全く無かったものを新たに建てることである。庁舎機能以外のコンベンション・にぎわいが持てる機能を複合化したものを建てたい。

□災害があった場合の1番の拠点となることをしっかり考えて提案をしてほしい。

⇒防災についてしっかり検討していく。

□シティホテルにあるコンベンションホールの施設を入れてほしい。

⇒コンベンション機能は残し、宴会や総会以外でも使える多目的なスペースとして整備したいと考えている。

□市町村合併の考えはあるのか。

⇒他市町村との合併は考えていない。

□ホテルを解体して建てることには無理があるのではないか。

⇒市役所の機能が果たせる最低限の規模にすべきであると考えている。

□交流の場・憩いの場にはある程度ゆとりのある場所が必要であり、前平を造成や道路整備して建てるのが良いのではないか

⇒前平は、スポーツ・健康の拠点として活用したいと考えている。プールがあった場所は新たな健康拠点として整備していきたい。

前平を整備した場合に、どれくらいの費用がかかるかの設計を始めているため、いずれ造成の図も見ていただきたい。

□駅南のほとんどが砂地であり、液状化が1番心配される場所ではないか。

⇒液状化についてはしっかり研究しなければならない。

□新造成地は液状化の可能性が高いとのことだが、やり方次第ではないか。

⇒造成にかなりのお金をかければできるが、現状よりもアクセスの悪いところを選ぶのには無理があると考えている。

□都市計画をつくってから庁舎の話をすべきではないか。

⇒都市計画道路はこれまでの50年間様々な問題があって達成できなかったが、駅前の西側と南側で区画整理事業をやろうとする民間の動きが始まりつつあるため、新庁舎も連携したい。

□一つのところでどこに行けば良いか分かるのが、やさしい庁舎ではないのか。

⇒分散型について、分庁舎はそのまま残し、西館と本館は1つの建物にまとめ、窓口をワンストップ化したい。

これからは、市に住民票や印鑑証明を取りに行くことは無くなり、自宅に居ながらできるようになると考えている。

また、コミュニティセンター機能のある場所で、行政事務が完了できるようにすべきであるため、そうした場所は絶対に残さなければならない。

□プレゼンにある都市は人口規模が全然違うが、美濃加茂には美濃加茂の立地条件があるのではないか

⇒市役所は、広域の相談や交流の場として、様々な人との出会いや相談ができる整備をしたい。

若い人たちが、市内に残りたいと思える場所を今だからこそつくらなければならないと考えており、その拠点としていきたい。

延発言者数7人

新しい市役所をいかしたまちづくりについて市長と語る会
意見交換結果概要（8月21日古井地区開催分）

○日 時 令和元年8月21日（水）午後7時～8時45分

○会 場 上古井交流センター

○出席者 49人

○内 容

□【出席者の質問・意見・提案等】

⇒【市長の回答等】

□駅周辺で決まったということか。これからは、人口減少していくなかで、新しい庁舎は市の中心が良い。現在の庁舎の駐車場は狭い。移転先を駅周辺とするならば、再開発できるような場所なのか。駅周辺をさらに発展させて、かつ駐車場のスペースを確保できるのか。
⇒駅周辺に建てることで具体的な調査を進めていきたい。

□駅周辺は再開発ができる場所なのか。

⇒都市機能を集約させる立地適正化計画をつくっている。駅前の東エリアに庁舎を建て、西エリアは、民間による市街地再開発がされることを前提に連携を考えていきたい。

□駐車場のスペースを確保することは可能なのか。

⇒現在の状況から計算すると104台あれば足りると想定している。これに対して114台確保できる予定であり、他市と比較しても、少ないわけではない。

□114台駐車できるという想定の中に、市職員の車が含まれていないのではないのか。

⇒駅周辺になった場合、職員には駅前を歩きながら登庁してもらう。駅前から、さらに離れた場所に駐車する場合には、離れた場所の民間の駐車場を現在と同じように借りることも考えていかなければならない。

□市役所ができたからといって賑わいができるものではないのではないのか。駅前には、市役所ではない市の施設をつくり。駅前から離れた中心につくるべきではないか

⇒市庁舎が来れば、にぎわうということはないと考えている。民間のエリアを含めた、駅の西側のエリア、新たなまちづくりをしたいという動きがある。そのような民間との連携の一部として、市庁舎を考えたい。

□市役所の利用度は低く、より賑わいがなくなるのではないのか。

⇒市役所にくる頻度が少ない中で、自宅や市内8か所に拠点を設けて、近場でいろいろな書

類の取得を完結するようにしたい。広域の連携が必要なとき、あるいは、行政の目的以外で、集まっていただけのスペースを設けたい。

□現状の市庁舎での駐車可能台数よりも、ずいぶん少ない台数を想定しているが、駐車は問題ないのか。

⇒生涯学習センターの行事が、現在の市庁舎における駐車可能台数に与える影響は大きいと考えている。その影響がない新庁舎では、現在の想定で問題ない駐車可能台数であると考えている。

□駅前より、郊外の交通の便が良い場所を検討してはどうか。

⇒今後、様々な施設を改修していかなければならず、財政の制限を考えると、新たな土地を市が取得することは考えていない。

□現在の市役所の用地は利用されるのか。

⇒生涯学習センターとの連携の中で、子供たちのためになるようなスペースを設けたいと考えている。

□水害はどうなっているのか。

⇒国土交通省が示した資料（木曾川浸水想定最大区域）の意図は、この地域は浸水するかもしれないという注意喚起のためであり、この場所に住んではいけない、モノを建ててはいけないということではない。可能性があることを知ってもらい、危機意識を高めてもらいたい。

□駅前に決めているのではないか

⇒駅周辺で進めていきたいということでご理解いただきたい。最終的に市議会で決定することになる。

□前平にある養豚場を活用して建ててはどうか

⇒前平地区は、スポーツの拠点、健康の拠点として整備していきたい。また、どのように造成できるかシミュレーションをしたところ、整形な面積の確保やアクセスの問題があり、また費用もかかるため、造成などが不要ないようにしたい。

□シティホテルは新しく作り直すのか、それともそのまま利用するのか。

⇒解体・再整備をしていきたいと考えている。コンベンション機能を多目的なスペースとして整備したい。役員や関係者に、納得いただける方法を考えていきたい。

□駅前市役所を作る場合、民間の人の立ち退きはあるのか。

⇒住居等の立ち退きはない。

□人口が少なくなるとあったが、基本計画のなかでは横ばいになっている。その部分のニュアンスが違うのではないか。

⇒高齢化や新しい住宅地を求めていくことが難しいことから、人口減少を言っている。

□水害の危険性が低いところにすべきではないか。また、地震があった場合に、倒壊や火災が心配ではないか。

⇒危機に対して自らの命を守るための自主避難を考えていく必要がある。防災拠点として、耐震、水害に対して確実に守れる場所を整備しなければならない。

□前平を造成しても、将来的な費用は、駅周辺とあまり変わらないのではないか。

□災害の時にいろいろな対策をとりやすい前平が良いのではないか。

⇒前平は、スポーツ・健康の拠点として整備していきたい。整備しても広い面積は確保できないと考えている。

□国から補助金がもらえるからという理由ではなく、何十年というスパンで再検討すべきではないか。

⇒駅前周辺に移転するのは、国から補助金がもらえるという理由からではなく、人口減少に打ち勝つ都市づくりをしなければならない。若者が住みたいと思えるようにしたい。新総合計画を歩くことテーマに考えており、国もウォークアブルシティ推進都市という考えを打ち出している。駅周辺の賑わいと伊深・三和などの文化・歴史を守るバランスの取れた整備をしていきたい。

□水が浸からない場所があるのであれば、そこを活用すべきではないか。

延発言者数 11 人

新しい市役所をいかしたまちづくりについて市長と語る会
意見交換結果概要（8月26日 蜂屋地区開催分）

○日 時 令和元年8月26日（月）午後7時～9時

○会 場 蜂屋交流センター

○出席者 105人

○内 容

□【出席者の質問・意見・提案等】

⇒【市長の回答等】

□今日の語る会の位置づけ・目的は何か。

⇒2年間、外部委員会の議論などを実施してきた事を説明して、今後活かしたい。

□語った事についての位置づけどうなるのか

⇒今後の議会でも議論があるので、そこでの対応に活かしていく。

□参加周知は会報だけでは不十分。

⇒周知方法はご意見を受けて、今後、検討する。

□対象としている参加者数と会場のバランスをどう考えているのか。

⇒今後もこういった場を実施していく予定であるので、会場についても検討する。

□浸水対策のかさ上げとバリアフリーをどう考えているか。

⇒国土交通省から公表されているデータについて説明をしてもらった。1000年に1度を想定した結果であり、そこに住む人に災害が起きる危険性のある場所とすることを認識してもらうためであり、逃げることを意識してもらうことが大事であることを理解して頂きたいとのことであった。また、昭和58年の時からカメラなども進歩しており、それらの活用が有効であると考えている。

□用地買収費用はどれほどを想定しているか。

⇒新たに土地を購入する予定はない。

□関市、富加町、岐阜県庁のように広い駐車場が確保できる駅北がよい。

⇒現状の駐車場利用としては生涯学習センター利用から満車になっていることを調査した。また、その他にも現状を調査した結果から駐車台数は設定している。駅利用者対応としては、現在のホテルが対応している仕組みなどを参考に工夫する。

□他市事例の駐車場の場所は、それぞれ1か所なのか。

⇒その通り。

□駐車場が分散するのは利便性がよくない。

⇒弱者の方は新庁舎近く、公用車を北側にするなどして、バリアフリーには十分配慮する。

□庁舎建設の財源はどうなっているのか。

⇒補助金はないので市単独の財源となる。ただ、公共施設を集約した場合の補助金があるようで、その活用は検討したい。

□庁舎建設で実現したい目的がはっきりしていない。

□デジタルで簡素化されるのであれば、庁舎の業務を本庁舎だけで実施するのではなく各地区で対応すれば、本庁舎を建て替える必要はないのでは。

⇒市全域で考える場所も必要であり、それを地区で考える場所も必要である。

□駐車場が3か所だと説明したが、それぞれが満車であった場合などの対応を想定すると、不自由ではないか。

⇒市役所整備にあたり、大きな投資はしないことを前提としており、過去の人口増加時代は郊外に広い駐車場を用意して建設すればよかったが、今は、ある資源をいかに活用するかが大事である。

□駅前で公共施設ににぎわいが必要なのは都市部のことで、駅前がさびれたのは社会的要因で、美濃加茂でこの状況を復活するのは無理、立地適正化計画も同じこと。

⇒今後は、交通ネットワークをより活用することになると考えている。一方で、駅周辺に物を買いに来ただけがにぎわいではなく、歩いて健康なまちづくりを目指したい。

□委員会の議事録を見ると庁舎の場所を決めることから議論をしているようだが、規模・機能から決めていくのではないか。

⇒決して、場所を先に決めようとしているのではなく、将来のまちづくりを見据えて考えて頂いている。

□美濃加茂は以前からコンパクトシティーに取り組んでいる印象だが、その流れが庁舎の計画につながると認識しているが、事例にあった長岡について、ネット等の記憶では、人

が集まりすぎて使いにくくなったと聞いたことがある。駅まで決まった訳ではないと理解しているがよいか。

⇒駅前の道路を含めて見直しを検討している。答申を受けて、駅前で進めたいと考えているが、そのことについて説明をして、意見を聞いた上で、課題解決を改めて説明しながら進めて行きたい。

□この語る会8箇所を終えて、市民にその結果をどうフィードバックするつもりか。

⇒結果はオープンにしていく。その後、また、市民の方と意見交換の場を設ける。

□議会を傍聴していると、しっかりと議論されていないように思う。駅前以外にもよい場所がある。

□新庁舎建設によって、太田宿が復活するとは思えない。

⇒駅周辺がよいと考えているが、市民の方の意見を聞いて進めて行きたい。

□資料にある新庁舎建設の構想では、その前段にある課題がまったく解消されるとは思えない。市民憲章にあった新庁舎をつくるべき。

⇒課題に対して、考えを共有しながら進めて行きたい。

□目的や課題が共有出来ていないので、今後、もっと意見交換が必要。

□加茂川の氾濫、分散駐車場を駅利用者が使う恐れがある事など、課題が多い状況な中で、議会での多数決はよくない。

⇒今後も、意見交換の場を続けて行きたい。

延発言者数 13 人

新しい市役所をいかしたまちづくりについて市長と語る会
意見交換結果概要（8月27日 三和地区開催分）

○日 時 令和元年8月27日（火）午後7時～8時45分

○会 場 三和交流センター

○出席者 39人

○内 容

□【出席者の質問・意見・提案等】

⇒【市長の回答等】

□計画案だと駅北口・駅南口双方からのアクセスとなる。現在、「あい愛バス」の発着のほとんどが北口であるが、駅南口へのバス路線拡充は考えているのか。

⇒バス路線のネットワーク拡充と併せ、駅南口のロータリー整備を行い「あい愛バス」が乗り入れできるよう考えていきたい。また、駅南側の都市計画道路の再編と公園整備も併せて整備していく必要がある。

□シティホテルを廃止するに当たり、現在までの経営状況・役割をどう総括するのか。

⇒シティホテルは美濃加茂市の玄関口としての顔であり、駅前ホテルの機能は無くしてはならない。構造的に今後30年は使用できるが、活用していくには改修が必要であり、改修計画を実施したところ20億円以上の費用が掛かる見込みである。また、ホテル側と意見交換を実施した際に、客室が43室と少なく、最低100室ないと経営が成り立たないと聞いている。シティホテルにあるコンベンションホール機能については必要と考えており、新庁舎には同様な多目的に活用できる機能を整備していきたい。新たなホテル建設については、民間開発ベースで行ってほしい。

□駅周辺で新庁舎が検討されているが、駅前通りの賑わいづくりも含めて選定されたのか。

⇒土日を含めて庁舎を活用できる機能にしていきたい。駅前商店街については、にぎわいづくりができていなかったため、銀行・体育館・病院・郵便局等の既存ストック機能を活用し、多治見市・小牧市と同様な市街地開発で駅周辺の活性化を行ってほしい。また、西側エリアでは民間計画で土地区画整理事業の動きもある。

若者が美濃加茂市で住み続けてもらえるようなまちづくりや健康をキーワードとした、歩いて人が集まるエリア整備を考えていきたい。これは国も推奨する「ウォーカブル推進都市」として、第6次総合計画でも位置づけており、健康を核としてまちを活性化させていきたい。

⇒木曾川浸水の想定最大規模の資料において、美濃加茂市も浸水する地域とされている。
これは、そこに住まないようにするものではなく、浸水することの危機感を持ち、今できることは何かを考えてもらうためのものであり、道路整備や市役所等を建ててはいけないということではない。防災の危機感を持った整備を進めることでご理解いただきたい。また、各重要河川に水位計設置が進み、リアルタイムに正確な情報が入手できるようになってきていることや新丸山ダムの整備もスタートしてきていること等、災害面での整備も順次進んでいる。

□駐車場「C-2」は市有地とあるが、JA用地を含んでいることを知っているのか。

⇒予定駐車場位置は、市有地のみでJA用地とは分割されている。

□シティホテル内のテナント補償はどう考えているのか。

⇒今後、計画案が決定すればシティホテルと協議に入るが、関係者には真摯に対応していきたい。公共補償基準に基づき営業・廃止補償も含め、誠意を持って考えていきたい。

□新庁舎建設に関して、更地と建物を取り壊した土地に建てるのでは費用が違ってくるが、どのように考えているか。

⇒現市有地の中でどのような方法であれば安価になるのかを基準に考えている。今後、どこかのタイミングでシティホテルのあり方について議論が出てくるため、20億円以上かけて改修していくのであれば、新庁舎建設のタイミングで議論していくのが有効であるとする。また、立地適正化計画での国の補助制度を活用し、新庁舎建設と併せてホテルの解体・再整備を行っていきたい。

□まちづくり委員会での全員一致の計画になっているのか。

⇒様々な意見があるため全員一致ではないが、議論を重ね、市民の意見も踏まえた計画としていきたい。

□三和町からのアクセス整備をどう考えているのか。

⇒「あい愛バス」が全ての公共施設に乗り入れることができるよう、西側の民間開発事業が動くことが前提となるが、都市計画道路整備とセットで考えていきたい。

□駅前周辺の都市計画道路の整備をどのように考えていくのか。

⇒都市計画道路はこれまでの50年間様々な問題があって達成できなかったが、駅前の西側と南側で土地区画整理事業の民間の動きが始まりつつあるため、新庁舎も含め一体的に道路整備を行っていきたい。

□駐車場が分散しているが、高齢者に便利な計画になっているのか。

□50年先の建て替え時はどう考えているのか。大きな駐車場があれば隣接地で建て替えもできる。中央体育館と分庁舎地も含めた場所も候補地ではないか。

⇒新庁舎では、窓口をワンストップ化しできるだけコンパクトにしていきたい。今後は施設集約の考え方になっていくため、郊外で建設した場合に他の施設整備は難しくなっていく。既存ストックを有効活用できる場所で計画していきたい。

□現庁舎の跡地利用はどう考えているのか。

⇒移転計画が決まれば、今後検討していく。生涯学習センターは、耐震改修もされているため今後も活用していきたい。西側エリアについては、地域活性化につながる公共性の高い施設整備を考えていく。例えば子育て世代と高齢者とが交流できる施設を整備していきたい。

延発言者数7人

新しい市役所をいかしたまちづくりについて市長と語る会
意見交換結果概要（8月28日 下米田地区開催分）

○日 時 令和元年8月28日（水）午後7時～8時15分

○会 場 下米田交流センター

○出席者 39人

○内 容

□【出席者の質問・意見・提案等】

⇒【市長の回答等】

□シティホテルは無くなるということか。

⇒今後30年の維持管理に20億円以上かかることから、コンベンション機能のある多目的なスペースとして解体再整備をしたい。

□美濃太田駅周辺をどのように活性化させていくのか。

⇒都市計画のマスタープラン策定を同時に進めており、その中の立地適正化計画において、新たな市街地の再整備計画をつくりたいと考えている。駅周辺では、民間の力を活用した活性化に期待するとともに、連携して魅力あるエリアを再整備していきたい。

□防災に対する対策はどのように考えているのか。

⇒岐阜県が発表した地震予測では、美濃加茂市は震度6強の地震が発生する可能性がある。浸水については、国土交通省の資料において、美濃加茂市も浸水する地域とされている。これは、そこにもものを作るな、住むなということではなく、浸水する恐れがあることを知っていただき、不安な時はすぐに逃げてもらうための注意喚起である。また、多くの水計が設置されたことによって雨量、水位を予測して事前に移動することに対して進歩していることから、避けて逃げるための指導をしていきたい。

□駐車場はどのように確保し、何台を考えているのか。

⇒シティホテルの駐車場3か所と新庁舎の1回を駐車場にすることによって、来庁舎用として114台が確保できる予定である。

他市と比べても決して少なくないと考えている。

□浸水の恐れがある場所に防災拠点でもある庁舎を建てて大丈夫なのか。

⇒これからは、早めに避難勧告を行い、建物が浸水する前に公共施設に避難が完了できることを進めていきたい。新庁舎においては、耐震、浸水に対して最善の構造となるよう十分に検討していきたい。

□安心安全である前平公園に建てるべきではないか。

⇒前平は浸水することはないが、立地上 15mの擁壁を作る必要があり、新庁舎が誰もが気軽に来ていただく場所としては難しいと考えている。総合的に最適な場所を説明していきたい。

□美濃太田駅周辺に決まったのではないか。

⇒まだ美濃太田駅周辺に決定したわけではなく、美濃太田駅周辺が候補地として最適であるという考えを示した。じっくり市民の方と意見交換をしながら、最終決定をしたい。

□住民投票をしてはどうか。

⇒今の時点で住民投票は考えていない。議会の議決をもって、市が責任を持つことで決定したい。

□美濃太田駅の北側にも庁舎が建てられるのか。

⇒上下水道課に関しては分庁舎に残し、それ以外は一か所で完結できるようにしたい。また、コミュニティセンターの機能も見直していきたい。

□新庁舎周辺以外の地域において空き家・農地の問題はどうか考えている。

⇒8地区の歴史・文化を守り、災害対策などがこの地域でできるような拠点をしっかり整備できる都市計画としていきたい。

延発言者数7人

新しい市役所をいかしたまちづくりについて市長と語る会
意見交換結果概要（8月29日 加茂野地区開催分）

○日 時 令和元年8月29日（木）午後7時～9時

○会 場 加茂野交流センター

○出席者 102人

○内 容

□【出席者の質問・意見・提案等】

⇒【市長の回答等】

□今回の会について、開催の広報が紙面を回覧するだけに留まっているのはなぜか。努力が足りないのではないか。

⇒紙面の回覧だけではなく、無線等も活用するなど改善をしていきたい。

□駅前はお金を払ってでも車を止めたい人が多いなか、現在計画している駐車場では足りないのではないか。

⇒現庁舎の駐車状況等を考慮し、今回の駐車台数を計画している。しかしあくまで統計上の話であるため、障がい者や子連れの方等を優先し、庁舎近くに駐車できるよう配慮する。

□駐車場が分散して計画されているが、一つの大きな駐車場を作った方が良いのではないか。

⇒大きな駐車場を計画していないのは、敷地の課題やコスト、将来性等を考慮したうえである。駐車場を効率的に使用できるよう、無線等の技術の活用も視野に入れて検討していく。

□にぎわい機能とあるが、イベント等をする時は駐車台数が足りないのではないか。

⇒今回の計画では日常利用を想定した駐車台数を算出している。イベント時は周辺の民間の駐車場との連携も視野に入れ、考えていく必要がある。

□現在駅前の前提で計画されているが、候補地の選定で住民投票をしなかった理由はなにか。

⇒これまでに説明した事は決定事項ではないため、住民投票は行っていない。計画を策定する中で、一つの案を提示し、意見をもらうために今回の会を開催している。

□駐車場や機能の集約等を考えると庁舎は分散型ではなく、1つ大きな庁舎を作るべきで

はないのか。

⇒現在庁舎以外の施設も老朽化が進んでおり、庁舎だけにコストをかけるわけにはいかないため、分散型の案を提示した。また役所に来なくても、各地の交流センターで行政事務が済むようになるべきであるため、そのような施設は今後も活用していく考えがある。

□岐阜県庁舎や関市の庁舎は郊外に役所を整備し、周辺に公共機能や店舗、銀行等が集まり、発展している。美濃加茂市も前平公園のあたりに庁舎を整備してはどうか。

⇒岐阜県や関市の例は人口減少の現代ではリスクがある。そのためコスト意識も持って検討していく必要がある。これまでの会でもそのような声があったため、駅前以外の候補地の詳細な検討を行っていききたい。しかし前平は美濃加茂市のスポーツ拠点として検討していききたい考えがある。

□今回の案における駐車場はすべて市有地で収める考えなのか。

⇒新たに用地を取得することは考えていない。

□庁舎移転後、現庁舎はどのようにするのか。

⇒新庁舎整備とあわせて跡地活用も計画していきたい。現庁舎の隣にある生涯学習センターは耐震化がなされているため、今後も活用していきたい。

□庁舎の整備と併せてシティホテルも整備するようなことも聞いたが、シティホテルについてどのような考えか。

⇒シティホテルのコンベンション機能については市のフロアの一つとして、多用途に使用できるものを整備していきたい。

□駅前の候補地の説明しかされていないが、他の候補地の説明が足りないのではないのか。

⇒次回の会では他の候補地についても説明していきたい。

□にぎわいのある街にしていくならある程度の機能を集約させるべきではないか。また新庁舎整備によって数年後にこうなるというような構想も示してほしい。

□総工費はどれくらいをみているのか。また新庁舎整備によって市民税は上がるのか。

⇒国の補助金を最大限活用するために調査しているが、おおよそ40~45億円ほどになると見ている。市民税は新庁舎整備とは関係ないと考えている。

□シティホテルは解体することが決まっているのか。

⇒決まっていない。

□まちづくりは大切だが、災害に強い庁舎を整備することも大切ではないか。

⇒災害対策は絶対に欠かせないと考えている。災害の際の対応策等も具体的に検討していく
く必要があり、今後しっかりとした説明をしていく。

□市民の意見を聞いただけで、聞き流さないようにしてほしい。

延発言者数 18 人

新しい市役所をいかしたまちづくりについて市長と語る会
意見交換結果概要（9月2日 太田地区開催分）

○日 時 令和元年9月2日（月）午後7時～9時

○会 場 生涯学習センター

○出席者 169人

○内 容

□【出席者の質問・意見・提案等】

⇒【市長の回答等】

□未来のまちづくり委員会の委員9人のうち4人が美濃加茂市民ではないという現状があるが、人選の意図は何か。各地区の会長や各世代の市民を選出すべきではないのか。
⇒委員会では客観的な視点を取り入れる意図をもって選出している。

□駅前ハザードマップでも水災害時の浸水が心配されるが、道幅が狭いため車両が通りにくく駐車も困難になり、非常時に十分に対応できないのではないのか。
⇒駐車場は安全面を考慮した計画を行っていきたい。ハザードマップは非常時に早急に避難してもらうために作成されていることを理解頂きたい。
道路幅が狭い点については、今後都市計画道路の見直しを含めて検討する。現時点で庁舎の1階に30台、近隣（G-1）に40台の駐車場を検討しているため、高齢者の方などにも止めやすいのではないかと考える。

□分散型の庁舎を計画しているが、民間のビルを借りるとなると一定の人に利益が偏ることが懸念される。中山道の空き家活用を視野に入れてはどうか。
⇒おっしゃられるご提案も貴重な意見として検討していききたい。

□庁舎が建設される具体的な場所を教えてください。
⇒シティホテルを解体、再整備を予定している。ただ解体するのではなく、シティホテルの宴会場は必要と考えるので、新庁舎でも整備していききたい。

□新庁舎整備に対して、国からどのくらい補助金が出るのか。
⇒補助金は出ない。ただ、コンパクト化するまちづくりに対して、これから補助制度ができてくると考えている。

□庁舎は安全性が一番大事だと考える。地震によって倒壊する恐れがあるが、対策はどのように考えているのか。

⇒防災、地震に対して最新技術の導入を検討していきたい。

□にぎわい機能を検討しているが、ただ飲食店や物販店を整備することがにぎわいというのは安易ではないか。

⇒にぎわいは何か目的を持って拠り所として集まる場所だと考える。市内の魅力的なスペースを集積して提供することで、市民にこれからも住み続けてもらえるまちづくりを行っていきたい。

□説明会の意見によって駅前としている候補地を白紙撤回することはあるのか。

⇒候補地は決定事項ではないため、意見交換を重ねていきたい。

□市民に対してアンケート調査を行う予定はあるのか。

⇒現時点ではない。2年という期間をかけて理解を高めていく予定。

□新たな用地取得を考えていないという話だが、その意思が候補地選定の視野を狭めているのではないか。

⇒新庁舎は全ての理想を解決するものではない。財政負担を考慮しながら検討していきたい。地域で解決できることは地域で解決していきたい。

□シティホテルの解体と庁舎の移転を同時に行うのはなぜか。

⇒シティホテルを維持管理するために莫大な費用がかかることから、再整備は必要となる中、新庁舎整備と同時期に解決できると考えている。

□JR線の線路によって南北に市域が分断されているため、歩行者が南北を行き来できる歩道を整備しても意味がない。駅前のにぎわい機能のイメージが候補地選定の判断を鈍らせているのではないか。

⇒歩行者の方の安全性を考慮している。新しい魅力を駅前に入れていきたい。

□ファシリティマネジメントは議論された上で候補地を選定しているのか。

⇒公共施設を維持管理するのに必要な費用は議論されている。全体の維持管理費を平準化していく意向。シティホテルを解体して新庁舎を整備することは公共施設等総合管理計画に沿った考え方だと認識している。

□市役所の移転先が、駅前のピンポイントに集約しすぎである。他の土地でも可能性があるのでは。248号線付近の土地を利用することが、現在の市の発展の流れに沿ったものではないか。市町村合併を視野に入れた広域的な視点で候補地を考えるべき。

⇒広域的な視点で周辺の地域と連携することは必要。道路からのアクセスは考慮したいが、車の利用だけでなく、歩くまちづくりを意識していきたい。

□新しい市役所の姿は、豊かな職員によって形成されるものだと考える。駅前という候補地を一度白紙撤回して、必然性と合理性を持って市役所の位置より、市役所の意思を市民に問い、再度意見交換によって立ち返るのが大切である。

⇒おっしゃるとおりである。地域づくりに職員が積極的に参入するような職員のあり方を考えたい。

□用地買収費のかからない現庁舎、駅前に建設することには納得している。市民との意見交換などに5年もの時間をかけては、いつ起こるかわからない地震に対応できないので、敷地決定を早急にすべきではないか。

⇒丁寧に意見交換をして進めたい。地震対策について合わせて十分な検討を行っていく。

□駅前に移転した場合、現庁舎の跡地利用も合わせて検討してほしい。

⇒検討していく。子育て支援や福祉に力を入れて整備していきたいと考えている。

□計画地の選定はいつまでに結論を出すのか。今後どのような意見交換を考えているのか。

⇒市議会の議決や市民とのやりとりを経て、具体的な対策案を示した上で意見交換を深めていきたい。

□市民投票を行ってほしい。

⇒市民投票は現時点で予定していない。

□建設地が決定した際、市長はどのような諮問をしたのか。各地区の問題を提起した上で、まちづくりの視点から決定すべきではないのか。

⇒まちづくりの視点を中心として意見交換していきたい。以前より提示しているが、これからは都市計画マスタープランで各地区の問題点を示していきたい。

延発言者数9人

新しい市役所をいかしたまちづくりについて市長と語る会
意見交換結果概要（9月3日 伊深地区開催分）

○日 時 令和元年9月3日（火）午後7時～8時30分

○会 場 伊深交流センター

○出席者 42人

○内 容

□【出席者の質問・意見・提案等】

⇒【市長の回答等】

□候補地の美濃太田駅前、北部からの道路アクセスが弱い。道路整備等の考え方はあるか。

⇒都市マスでも道路整備が必要と考え、周辺の南北道路を東西で結ぶことも必要であり、都市計画道路の見直しも含めて検討中である。バスがアクセスできる道路体系も必要と考えている。

□前平公園周辺なら、駐車場用地確保にも費用がかからないし、高台で災害時にも利用できるのではないか。

⇒前平公園周辺での建設については、造成費がかかることやアクセス道路整備等も課題である。どれくらい費用がかかるか、再度検討し皆さんに提示する。

□ネーミングライツ、クラウドファンディングなど、民間の資金活用を検討すべきである。

⇒民間活力の導入は、検討していきたい。また、庁舎単独の国の補助はないが、コンパクトなまちづくりにより、補助を獲得していきたい。

□美濃太田駅前、水害時2mの浸水の恐れがある。前平公園周辺ならその点安心であるし、健康スポーツ、子育て環境の観点からよい。

⇒ここに示す国の浸水ハザードマップは、木曾川下流の岐阜や名古屋が完全水につかるような、千年に1度くらいの最大級の浸水被害を示し、住民に危険性を認識してもらうものである。新丸山ダムができれば治水性は高まるし、近年は雨量、浸水の予測も早めに行えるようになってきており、事前に住民の避難も促せる。

前平公園周辺は豚コレラの関係もあり、県との調整が進んでいない。造成費、アクセス道路の課題も前述の通りであり、今後示していきたい。

前平公園を市のスポーツの拠点とすることはそのとおりである。

- 中消防署も低いところにある。庁舎建設と一緒に考えてもらいたい。
⇒防災については、しっかり対応したい。消防署の本部、中署についても一緒に考えていきたい。
- シティホテル美濃加茂のホテル経営は、20億円の損失を出している。そもそも行政が運営するのは難しい。
- 十数年前にも市役所建替えの話があったが、今思えば良い条件のところもあり、機会を逃している。
⇒これまでの公共事業について結果が出ていない点もある。ただ今は、これまでと違い人口減少の時代で、これを踏まえた検討を行う必要がある。
- 4候補地比較時の事業費は、どれも庁舎整備費や維持管理費は同じであるが、建設地が違えば違わず。もう少し時間をかけて計算すべきである。
⇒事業費については、もう一度検討して提示していきたい。
- 分庁舎を活用するとしているが、女性とか市民の立場になって考えてもらいたい。車で移動することなどは事故の危険性もある。
⇒地区では連絡所等でITを活用して、すべてではないが、できるだけ市役所に来なくてもいいようにしていきたい。また、市役所はワンストップで利用できるようにし、市民の利便性は高めたい。
- 構想作成時にワークショップに参加したが、一番候補の位置づけの低い駅前に決まった。最初から駅前ありきではなかったのか。委員会の顔ぶれも、市民でない大学の先生が4人であり、地元メンバー中心で行うべきではなかったか。議会も審議できていないと聞いている。
ワークショップ時には、庁舎建設には10年くらいかかると聞いていた。1～2年で決めるのは難しいのでは。
駅前の地主との関係も噂されている。
子や孫の世代のためにも、市民一人一人と向き合って進めるべきである。
⇒有識者は、市民とは違う側面の専門的な観点から意見を聞くことができ、有効であった。今後も市民とは意見交換をしていきたい。
- 伊深交流センターが計画中であるが、連絡所を便利にするためには、面積や職員も足りない。
⇒IT、RPA、AIの活用により、市民の利便性と業務の効率化を図るとともに、効率化によ

り縮小された市役所の職員を連絡所に配置する等の考え方もある。

□仮に、駅前に庁舎を建設するなら、地下調整池などの対策も必要である。

⇒駅周辺での迂回下水路等、排水についても都市マス等に位置付けて、整備を行っていき
たい。

□シティホテル美濃加茂を縮小して、庁舎にする方法もある。費用も小さく済むのではな
いか。

⇒シティホテル美濃加茂は、客室 43 室であり、経営上負担となっている。また、長寿命
化のために 20～30 億円かかる。今後 30 年間維持するためにこの費用は使えない。コン
ベンション機能は市役所の中に確保すべきであるが、ホテルの継続は難しい。

延発言者数 9 人